

# 広域・県域でのESD推進 (持続可能な開発のための教育の10年さいたま)

## ・概要

埼玉県域でのESD民間推進団体「持続可能な開発のための教育の10年さいたま(ESDさいたま)」は03年以来、市民・民間主体で県・県教育委員会、市町村・教育委員会と協働で市民・NPO、学校、中間支援組織などESDの普及、及び、理解の促進と推進のための活動を行なっている。

ESD推進のためにESDフォーラム、「ESD地域・学校教育連携フォーラム」とESDワークショップ「ESDですすめる」シリーズを行なっている。

## ・実施背景や地域の課題

ESDさいたまは埼玉県域で04年度から県単位・地域単位の40回以上のESDフォーラムとESDワークショップを実施し、ESD推進してきた。しかし、民間はもとより、学校、行政のESDの理解は薄く、また、ESDを推進するものではなく、地域と学校・学校教育との連携によるESDの推進は難しかった。

05年にESD国内実施計画が発表されたが、民間、行政、学校でもこの国内実施計画の認知も非常に低く、国内実施計画の認知の働きかけも課題となっている。

## ・目標・目的

- ・民間、学校、行政でのESDの理解の促進
- ・地域と学校・学校教育との連携によるESDの推進
- ・民間、学校、行政でのESDの推進主体の形成
- ・市民、教員、行政、公益団体などの協働による地域と学校でのESDの推進体制の構築

## ・実施主体や実施体制

ESD民間推進団体「持続可能な開発のための教育の10年さいたま」の主催各地の地元団体等が参画し、行政・公益団体などが協力し、教育委員会が後援

## ・資金(自己資金なのか、ファンドレイジングなのか等)

自己資金

## ・活動内容

### 1. 民間、学校、行政でのESDの理解の促進のための活動

広域・県域でのESD推進のために民間、学校、行政でのESDの理解の促進のためにESDフォーラムを実施している。04年のESDフォーラム「持続可能な社会を協働で築こう！」から始まり、県域・県内地域ごとのESDフォーラムを地域でESD及び環境教育、開発教育、多文化共生教育、平和教育、福祉教育、市民教育などを実践している市民・団体と開催し、ESDの事例発表と事例検討を行なうことでESDの普及、及び、理解の促進を行なっている。

ここで重要なことは、単にESDの理解だけでなく、ESD国内実施計画の周知に重点を置くことと同時に、このフォーラムの開催にESDの体制が整っていない行政、学校に参画を促すことである。

### 2. 地域と学校・学校教育との連携によるESDの推進のための活動

地域と学校・学校教育との連携によるESDの推進のために「ESD地域・学校教育連携フォーラム」を実施している。

ESDさいたまが埼玉県主催の「NPOと市町村との協働アイデア提案会」で「広域・県域でのESD推進」のプランを提案



ESD地域・学校教育連携フォーラムの様子

し、県・自治体等の協力を得て07年度からは「ESD 地域・学校教育連携フォーラム」を実施している。

この「ESD 地域・学校教育連携フォーラム」は、県・県教育委員会、市町村・教育委員会と協働で市民・NPO、地域・学校・行政、中間支援組織が集まり、市民・団体、教員・学校の事例発表と地域と学校で推進するESDの内容・方法を討議することで、ESDの普及、推進を行なっている。

ここで重要なことは、ESD国内実施計画の周知に重点を置くことと同時に、ESDの体制が整っていない行政、学校に参画を促すために、提案し制度化をはかることである。

### 3. 民間、学校、行政でのESDの推進主体の形成

民間、学校、行政でのESDの推進主体の形成のためにESDワークショップ「ESDですすめる」シリーズを行なっている。

「持続可能なまち」(2004/12～)、「地域再生を考える」(2005/9～)、「地域福祉の持続可能性を考える」(2006/10～)、「まちでつながる、広がるワークショップ」(2007/5～)などのESDワークショップにより参加する個人がESDを推進する主体となっている。

ESDワークショップ「持続可能なつながりをつくろう」(2006/9～)によって参加する多様な団体がESDの推進主体となっている。

ESD授業デザインワークショップ(2007/5～)「グローバル・クラスルーム」(2008/5～)などのESDワークショップによって、学校教育でのESDの推進主体の形成が行なわれている。

ここで重要なことはESDの普及及び理解のだけではなく、ESD自体の促進ためには自分たちが考えたことをもとにESDプログラムをつくる、つまり、ESDの内容・方法をワークショップで考えて行ない、ESDを生み出す力を養うことができた。

#### ・かかわった人々や社会の変化・その成果

ESDフォーラム、「ESD 地域・学校教育連携フォーラム」とESDワークショップ「ESDですすめるシリーズ」の実施により、広域・埼玉県域のESDの理解の促進、ESDの推進がはかられた。

民間、学校、行政のESDの理解はESDフォーラムやワークショップを行なうことで数多くの参加者を得たことで達成された。同時に、ESDフォーラムやワークショップを協働で推進することで各機関のESDの理解促進がはかられた。

埼玉県主催の「NPOと市町村との協働アイデア提案会」で「広域・県域でのESD推進」のプランを提案した「ESD 地域・学校教育連携フォーラム」とESDワークショップにより県・地域と学校・学校教育との連携によるESDの推進が図られた。

しかし、未だ、民間、学校、行政のESDの理解は薄く、市民、教員、行政職員、公益団体などの協働による地域と学校でのESDの推進体制の構築が課題となっている。

これらによって、ESDを推進する人にESDの普及・理解のだけではなく、ESDの内容・方法をワークショップで考えて行ない、ESDを生み出す力を養うことができた。ESD・教育と活動が結びつくことで、地域ぐるみで多様な課題に取り組む素地が出来た。

お問い合わせ先

持続可能な開発のための教育の10年さいたま

代表 長岡素彦

住所：〒350-1174 川越市かすみ野2-8-4

TEL：049-257-9000

FAX：049-233-0402

MAIL：info-lab@cyber.email.ne.jp

WEB <http://esd.weblogs.jp> <http://www.e-tiiki.net/g/e>



ESDワークショップ



ESDワークショップ  
「持続可能なつながりをつくろう」